

●山北田んぼ

田植えから1ヶ月！6月30日にコログシをして、8月4日に草取りをしたところ、2枚の田んぼの状態は全く違ってました。手植えの田は、苗が大きく育ったので深水にしたところ、コナギやイグサ様の草が目立ちました。機械田は苗が小さかったので深水にすることが出来なかったからなのかヒエが多く出ました。でも、どちらの田んぼ共、コンテナ2箱の少ない草取りで済みました。改めて山北田んぼの草の少なさを実感しました(自慢・笑)。

草取りをした後は防鳥糸を張り、カカシをたてました。今年のカカシの一つは川口さんから頂いた人形(人間と見間違え程で、ハツとする)を置いてみました。これは効果ありそう。

あとは収穫を待つのみ！光新世紀、里じまん、もち米、黒米、豊作でありますように。

いつも、そらやさんに苗田の耕耘や相談、収穫時の機械の調整などでお世話になっているので、田の草取りでお返ししたいと思っていましたが、ようやく実現できホッとしています。(以前農の会で苗田にしていた2枚)
山北田んぼの皆様、正志塾の研修生の皆様有難うございました。
山北田んぼ 良子

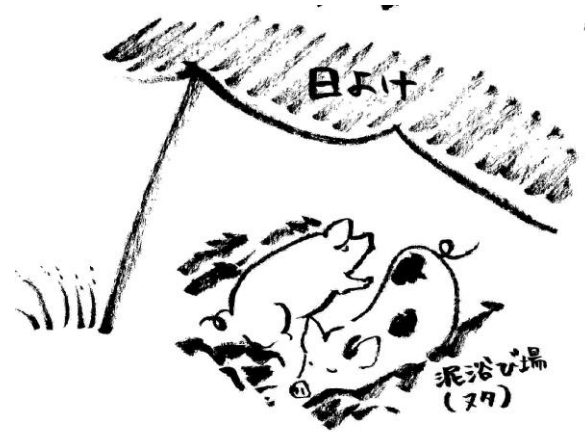
●今年はやまちゃん田んぼ

今年からやまちゃん田んぼに参加させていただきました相馬です。どうぞ宜しくお願いします。

やまちゃん田んぼでは、5~6家族と多くのスポット参加者とともに、小田原市永塚の1反半ほどの田んぼで、白米(さとじまん)と黒米(朝紫)を作っています。4月8日に種まきを行い、金井島で苗を育てました。水温が高かったためか、立派な苗ができました。昨年までは不耕起でしたが、今年は5月に田起こしをしました。6月8~10日に田植えを手植えで実施。中日には雨に降られましたが、最終日には抜けるような青空の下、予定通り田植えを終えました。黒米は苗が少なくなり、最後は苗をばらして一本ずつ植えました。現在では立派に分けつしています。田植え後は草取りを適宜行っています。雑草の中には稗もあります。稲とそっくりなので見分けるのが大変です。黒米は開花が早く、穂が雀に食べられ始めたため、8月12日には黒米の田んぼだけ網掛けを行いました。

6月の台風で竹置場が壊れたりしましたが、その他は現在まで順調にきています。無農薬で肥料はレンゲなどの緑肥ですが、稲は大きく成長しました。10月中旬の稲刈りが楽しみです！
相馬宏充

厳しい残暑が続きますね！暑さに弱い豚さんたちですが、放牧場ではお母さん豚がうっとりとお昼寝中。日除けの下に、豚がどんどん穴を掘り(もちろん鼻で!)いまや2頭の大きな母豚がどっぷりつかるとなっています。豚は汗をかかないため、冷たい泥に体をひたして涼をとります。イノシシの頃からの習性です。ここ数年、あまりの猛暑に慌てて扇風機を持ち出したこともあります。今は日除けと毎日ちよつとずつの水やりで乗り切っています。ヒトの世界も節電の夏。自然に学ぶことの多い日々です。



●夢の田んぼ

福一事故後、田んぼから離れた人たちもいて、今、夢の田んぼは基本的に一人でやっています。私にとって田んぼをやるということは、お米の自給というよりは、自分自身の為のようです。今から収量は聞かないで！と言っているようですが(笑)草取りも追いつかないし色んな不備があるけれど、作ることに価値があるような気がしています。

8月の半ばに、根本樹さんと子供たちが避難した奈良県に行き、彼女が通う大阪市西成区釜ヶ崎で、少しだけボランティアしてきました。ここは、日本最大のドヤ街です。アルコール・薬・貧困・性・・・様々が混在する街に触れながら、人間の遅しさと、肩肘張らない明るさを感じました。私たちは、何にしがみついて何を大事に生きているのだろうか、改めて思いました。3.11後、それぞれの生き方が問われているようです。

夢の田んぼ@鈴木淳子

風力発電

額田

代表的なグリーンエネルギーとして、太陽光、水力、風力とありますが、どれをとっても一長一短があってそれなりに難しい所があります。でも全ての人に平等に与えられたエネルギーは風力でしょう。太陽が昇る限り風は吹きますが決して独占できません。風はとも気ままで、小さな風力発電機だとよく回っていてもそれほど発電はしていません。半分は趣味の世界かも。でもね何故か面白くて風が吹くとニヤニヤしちゃうんです。風が吹いて小さな灯りがついた時の感動は一生忘れないでしょう。太陽光ではこの感動はありませんでした。灯りをつけるまでのプロセスは立派な科学的なものでいい加減では成功しません。子供たちの必修科目としたい位です。こういう経験をした子供たちが原発のことを考えてくれれば今の大人より信頼できそうなところに落ち着くのかな。

ちなみに風力発電で最も難しい技術は何でしょうか。それは、規模の大小にかかわらず動きを止める事に尽きます。台風の時など信じられない程、風の威力はすごいのです。作った人にしか解らない自然の脅威や科学の威力を肌で知る事になります。

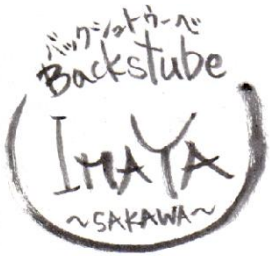
ゆたゆた農園から

今年で5回目の田植えを終え、この秋には収穫が待っています。今年は草も少なく、今のところ順調に育っているのでそのまま収穫できるようにと、今日はスズメ対策に古着に藁を詰めて案山子を作り、田んぼの畦に置いてきました。小さなスズメといえども集団で毎日来られると結構な被害です。

そんなゆたゆた農園の私たちですが、この秋から宅配を辞め畑の面積を縮小し、自給農に切り替えていこうと思っています。やはり移住者で専業農家で子育てをしていく事が私たちには厳しかったのです。でも農業をやってみて、自然の厳しさ、怖さ、豊かさが身をもってわかったし、野菜・米作りはと〜っても大変だけど、おいしいものが食べられる喜びや食の大切さを実感することができたので、これからも野菜作りはやめられないと思いました。すべてが大変だったけど、これらの経験は誰もができることではないと自負しながら、これからの人生につながっていく事を願う今日この頃です。農の会の人たちとの出会いに感謝します。

小川 夕

通信が置いてあるお店



酒匂のケーキ屋 イマヤ
お陰様で10周年

厳しい残暑が続きますが、皆様お元気でお過ごしですか？

多くの方々に支えられ、イマヤも10周年を迎えることが出来ました。本当にありがとうございます。

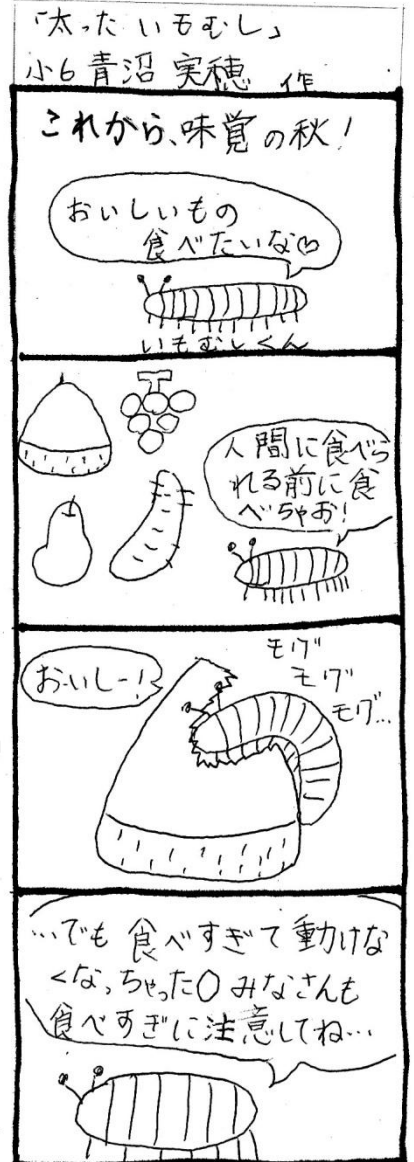
10年前、オープンする際に、田んぼをやりながら店を経営して行くのは難しいかな〜？と思いましたが、続けてきて良かった〜と思います。ケーキという食に携わる職業を生業とする私にとって、日本人の食の原点とも言うべき田んぼに身を置く事は、ケーキの製造や販売にあたって、大切な事とは何かを常に示してくれているように思うからです。

今後も田んぼや農の会の皆様との交流を通して大切な事を見失わないよう、ケーキ屋イマヤ頑張っていきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

イマヤ店主 今屋 健一

9/1朝は西大友の大豆畑に十一名が集まり、3回目の除草作業を行いました。早い方は6時から、それ以外の方も7時から作業を始め、9時過ぎには終了しました。大豆は成長著しく、ずい分背が高くなっていくところに、直前に降った雨の重みで、倒れている株が多かったです。それを起こしながら、雨でぬかるんだ畑での作業でしたので、思っていたよりしんどい作業となりました。それでも、曇りがちな天気のおかげで、9時過ぎには通路周辺を中心に、だいたいの除草作業を終えることが出来ました。早朝から参加された皆さん、お疲れ様でした。次は十一月頃の収穫まで作業は予定していません。豊作を期待しながら待ちましょ。

大豆の会 藤崎智子



大豆の草刈り作業(八月四・十二日・九月一日早朝から)